



# 四万十つるの里づくりの会 平成27年度取り組みダイジェスト

平成27年度は地域の方々の協力を得て、以下のような取り組みを行いました。セブンイレブン記念財団、四国クリエイティブ協会、四万十ロータリークラブからの助成や、国土交通省の「四万十川自然再生事業」による協力も頂きました。



取り組みの様子は  
ホームページで  
随時公開中！

<http://www.shimanto-tsuru.com/>



平成27年

4月

## ツルのえさ場・ねぐらづくり

期間 ■ 通年

《実施内容》中山箇所では、ツルの餌としてモミを撒いても洪水で流されてしまうことが毎年の課題でした。そこで、イネが定着するように苗植えも行いました。江ノ村箇所では、休耕田を借り上げて越冬地整備を継続し、地元農家の方に米を作ってもらい、収穫後に二番穂を残しました。ツル類の渡来期には、くず米の散布（11月5日）や猟友会会長への協力要請等の保護啓発活動を行いました。



中山箇所の秋の様子

6月

## 夏の「ツルの自然体験学習会」

日時 ■ 平成27年6月30日（火）10:00～12:00  
場所 ■ 中筋川中山箇所・間箇所  
参加者 ■ 約60名（児童生徒26名、その他スタッフ等）

《実施内容》中山箇所では、平成25年度にマナヅルが越冬した時の様子を写真で学習しました。間箇所では、国土交通省の職員の方から湿地整備のポイント等の話を聞きました。そして、秋に広範囲に稲が実るよう、全員で力いっぱいモミを撒きました。

↑ツルの学習



↑モミ撒き（間箇所）

9月

## 平成27年度総会

日時 ■ 平成27年9月25日（金）16:30～17:30  
場所 ■ 中村商工会館（3F 大会議室）  
参加者 ■ 28名

《実施内容》本年度も例年どおりの事業展開を行うことが決まり、秋～冬のツルの飛来状況調査に向け、専門家を講師に招いてツルの生態等について見識を深めました。



10月

## 秋の「ツルの自然体験学習会」

日時 ■ 平成27年10月29日（木）10:00～12:00  
場所 ■ 中筋川中山箇所・間箇所・江ノ村箇所  
参加者 ■ 約50名（児童生徒26名、その他スタッフ等）

《実施内容》夏にモミ撒きをした中山箇所と間箇所では、稲の育ち具合を確認しました。江ノ村箇所では、小学生はツルを呼び寄せるための模型「デコイ」の設置を完了させた後、長年の風雨で汚れた啓発看板を掃除しました。中学生は、ツルが周辺を見渡し安心して過ごせるよう、四万十ロータリークラブの方々と一緒にえさ場周辺の草刈りを行いました。

デコイの設置 →



↑看板清掃

→ 草刈り



## ツルの飛来状況調査

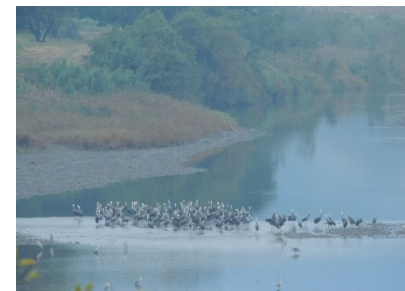
期間 ■ 平成27年10月～平成28年2月

《調査結果概要》

- ・平成27年度のツル類の地上での初確認は10月29日ではほぼ例年並みでした。
- ・最大飛来数は239羽（H27.11.11）と過去最大となりましたが、越冬はしませんでした。
- ・飛来したナベヅルは、四万十川の砂州をねぐらとし、昼間は主に中筋川流域の水田で餌を食べて過ごしていました。
- ・渡来初期は耕起後の田で落穂や土中に潜む虫などを食べていましたが、後半は二番穂も食べていました。
- ・狩猟や落ち鮎漁の解禁に加え、増水によるねぐらの消失も大きなストレスとなり、しばらく確認できない時期がありました。

## 飛来状況調査で確認したツル類の様子

※写真提供：国土交通省中村河川国道事務所



↑ねぐらでの様子（H27.11.6）



↑探餌（H27.11.6）



↑飛翔（H27.11.15）

11月

## 第7回 四万十つるの里祭り

日時 ■ 平成27年11月28日（土）10:00～14:00  
場所 ■ 四万十市立東中筋中学校  
来場者 ■ 約800人

《実施内容》四万十川河畔で摘んだ野草と江ノ村箇所の水田でとれたお米を使ったおかゆや、田舎寿司などが並ぶ「ツル食堂」のほか、作って飛ばす紙飛行機大会、野鳥の巣箱作りなどの体験イベント、漫談や土佐中村一太鼓のステージなど、子どもからお年寄りまで楽しめるイベントの数々で、訪れた地域の方々をおもてなしました。



↑ツル食堂



↑ステージパフォーマンス（漫談）

12月

## 「四万十市へ渡来のナベヅルについて」記者発表

日時 ■ 平成27年12月7日（月）10:00～10:30  
場所 ■ 中村商工会議所  
参加者 ■ 20名（うち記者6名）

《実施内容》四万十つるの里づくりの会、高知野鳥の会、日本野鳥の会高知支部の三者合同で記者発表を行い、「現在、飛来しているツルは越冬する可能性が高い。ツルを驚かせないように、あまり近づかないで静かに見守ってほしい」と、市民に向けて呼びかけました。



平成28年

2月

## 平成27年度中国・四国地方ナベヅル・マナヅル情報交換会

日時 ■ 平成28年2月15日（月）13:00～17:00  
場所 ■ 愛媛県西予市役所  
出席者 ■ 約70名 主催 ■ 環境省

《実施内容》中四国6県のツル保護関係者や行政機関等が集まった情報交換会に参加し、これまでの活動を通じて考えられた問題点や課題を会場に投げかけ、他地域からの助言を仰ぎました。会議では、中国・四国地方をナベヅル・マナヅルの一大越冬地として確立させていくという方向性が示唆され、四万十市での私たちの取り組みの重要性を強く感じました。



## 会報で取り組みを発信！ 四万十つるだより Vol.21（H28.1.25発行）

地域の回覧や行事等で配布し、当会の活動を紹介しています。今季は大変多くのツルが四万十市に渡来したため、ツルたちの暮らしぶり（行動）を写真を使って楽しく紹介しました。